

2025年3月期決算説明



2025年5月20日

片倉コープアグリ株式会社

会社概要	3～4
------	-----

2025年3月期 連結決算業績

2025年3月期 連結業績サマリー	6
連結貸借対照表増減	7
主要経営指標	8
連結キャッシュ・フロー	9
連結業績 セグメント	10～14
株式の配当金推移	15



片倉コープアグリ株式会社

設立	大正9年(1920年)3月14日
本社所在地	東京都千代田区九段北1-8-10
資本金	4,214百万円
従業員数	614名(単体)
	821名(連結)
発行済株式の総数	10,161千株
株主数	6,502名(2025.3.31現在)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場



”たわわに実った農作物のしなり” のイメージをモチーフしてデザインしました。
確かな技術で未来を創造していく企業をイメージしています。

■：作物や農業 ■：情熱、力強さ、太陽 ■：地球、水、空、大自然

基本理念
行動規範

企業活動を通して社会に貢献する

- ・ 創造と挑戦
- ・ 安全と安心
- ・ 公明正大
- ・ 明朗闊達

コーポレートメッセージ 稔り豊かな未来に貢献したい

2025年3月期



連結決算業績

2025年3月期 連結業績サマリー

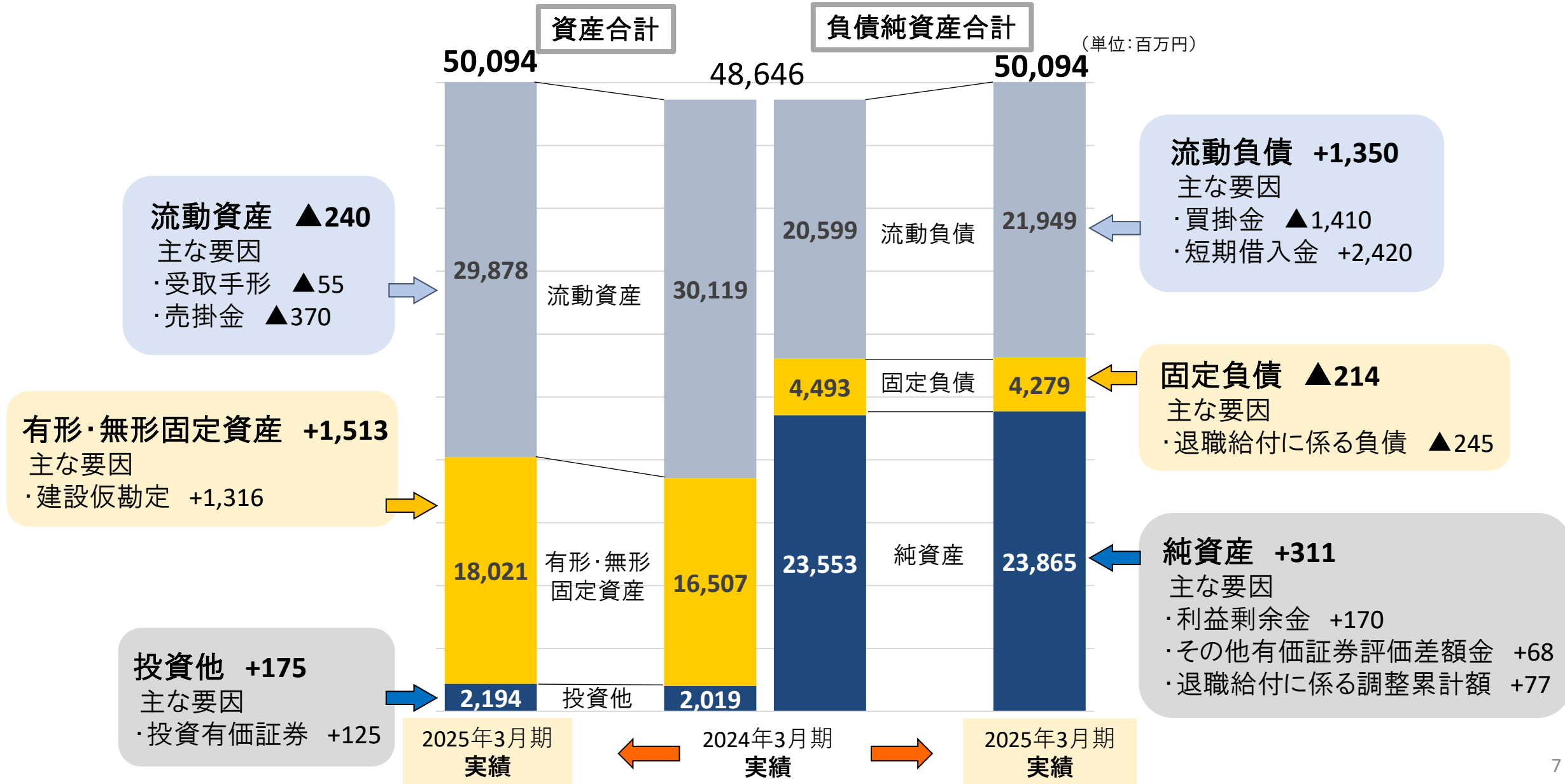
(単位:百万円)

連結	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	
			対前期
売上高	41,233	41,369	136
営業利益	▲852	650	1,503
経常利益	▲786	672	1,459
当期純利益	▲630	350	981

2025年3月期 経営成績概況

前期は肥料価格引下げ前の在庫に起因する売買差損の影響で損益が圧迫されましたが、当期は化学品事業の販売増加や原価改善に加え、肥料事業における全社的な改善活動と在庫影響の軽減により、営業利益以下の各利益項目が前期を大きく上回りました。

連結貸借対照表増減



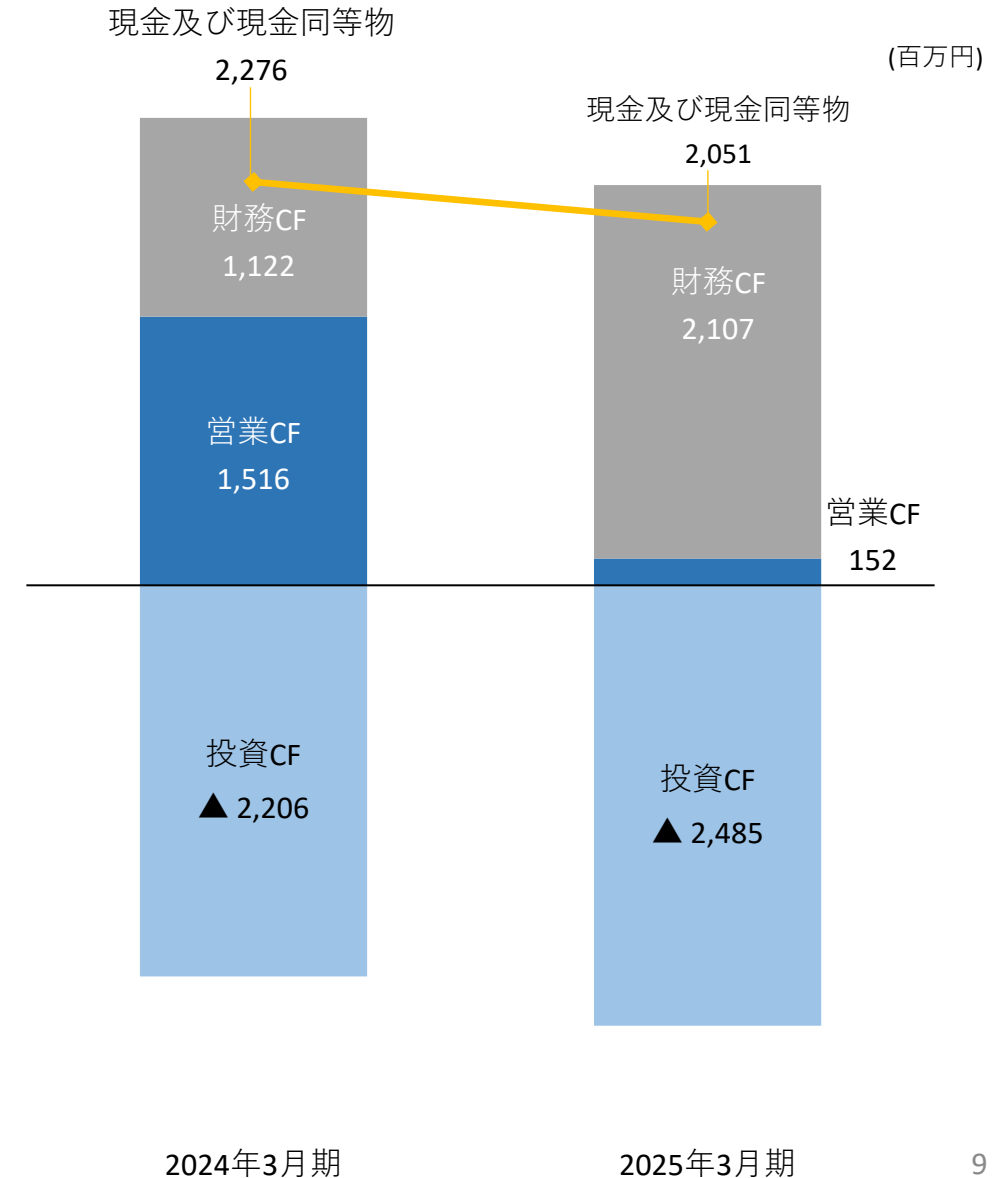
主要経営指標

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	対前期
資本金(百万円)	4,214	4,214	-
総資産(百万円)	48,646	50,094	+1,448
純資産(百万円)	23,553	23,865	+311
有利子負債(百万円)	12,090	14,510	+2,420
ネット有利子負債(百万円)	9,759	12,404	+2,645
1株当たり純資産(円)	2,621.83	2,658.36	+36.54
1株当たり配当額(円)	20.00	20.00	-
自己資本比率(%)	48.3	47.5	▲0.8
自己資本当期純利益率(%) (ROE)	▲2.6	1.5	+4.1
負債資本比率(DER)	0.5	0.6	+0.1
配当性向(%)	-	51.2	-
総資産経常利益率(%) (ROA)	▲1.6	1.4	+3.0

連結キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績
営業キャッシュフロー	1,516	152
税金等調整前当期純利益	▲836	627
減価償却費	1,287	1,286
売上債権の増減額(増加:▲)	1,333	425
棚卸資産の増減額(増加:▲)	1,223	▲702
仕入債務の増減額(減少:▲)	637	▲1,438
未払金の増減額(減少:▲)	▲636	5
長期前払費用の増減額(増加:▲)	▲7	▲236
法人税等の支払額	▲1,480	460
その他	▲4	▲275
投資キャッシュフロー	▲2,206	▲2,485
財務キャッシュフロー	1,122	2,107
現金及び現金同等物の期末残高	2,276	2,051



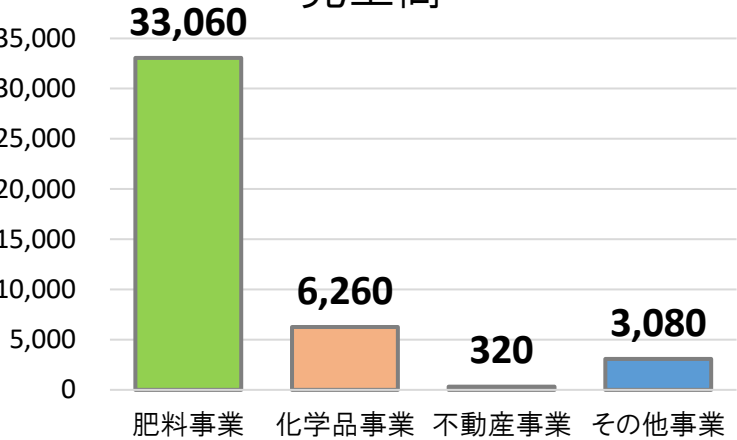
連結業績 セグメント

(単位:百万円)

	2024年3月期 実績		2025年3月期 実績			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	前年対比	
					売上高	営業利益
肥料事業	33,670	▲1,245	33,060	55	▲610	1,301
化学品事業	5,574	438	6,260	637	685	198
不動産事業	406	91	320	3	▲86	▲87
その他事業	2,856	3	3,080	95	224	92
調整額	▲1,274	▲141	▲1,351	▲142	▲77	▲1
合計	41,233	▲852	41,369	650	136	1,503

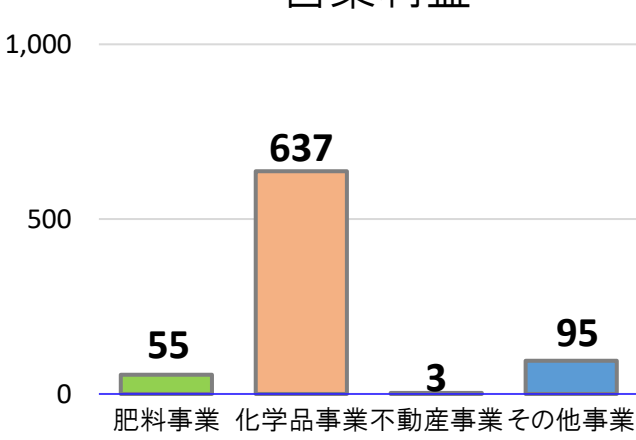
(百万円)

売上高

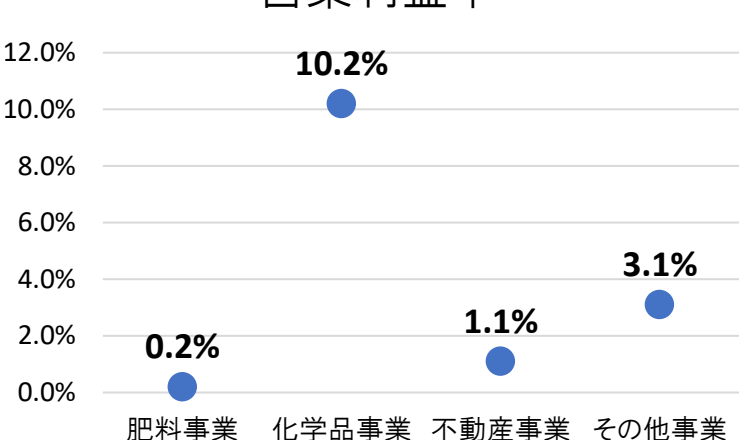


(百万円)

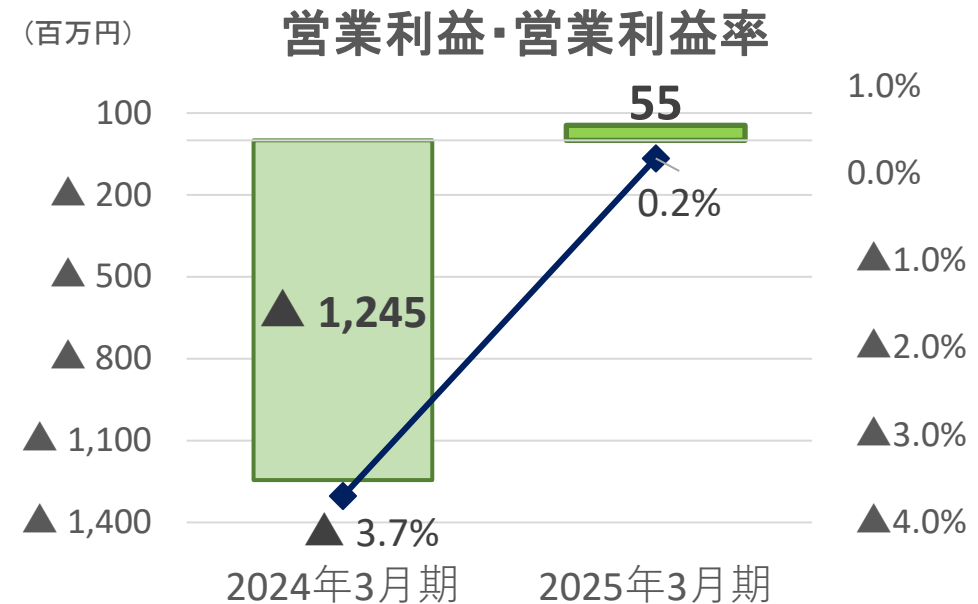
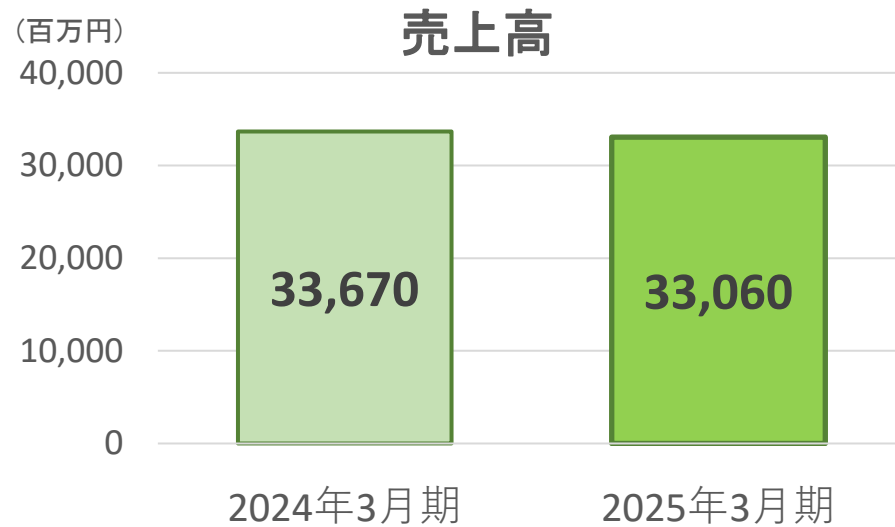
営業利益



営業利益率

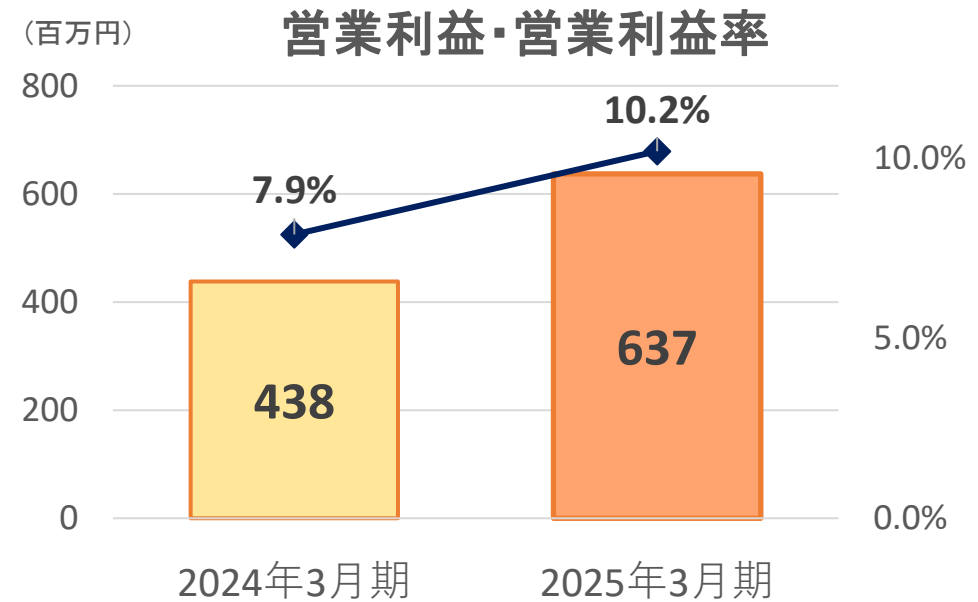
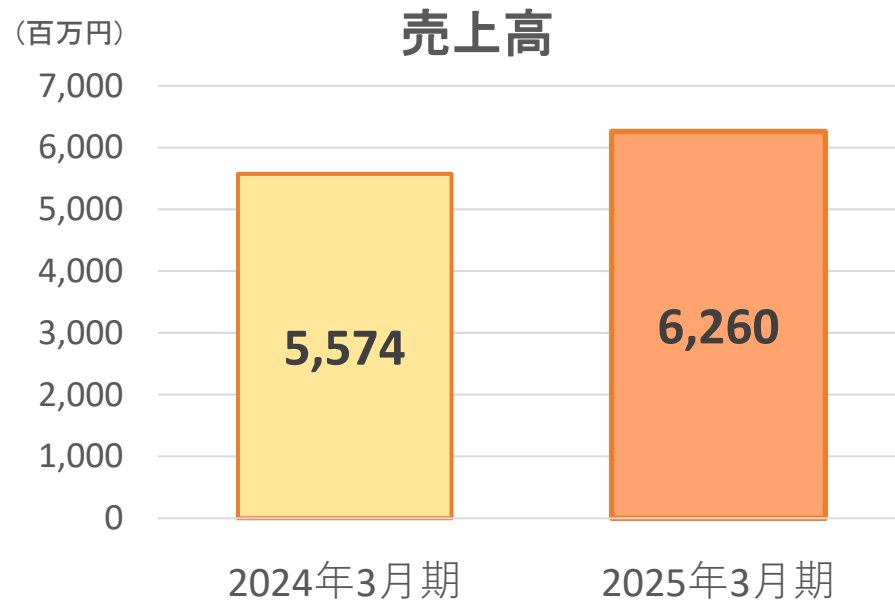


肥料事業



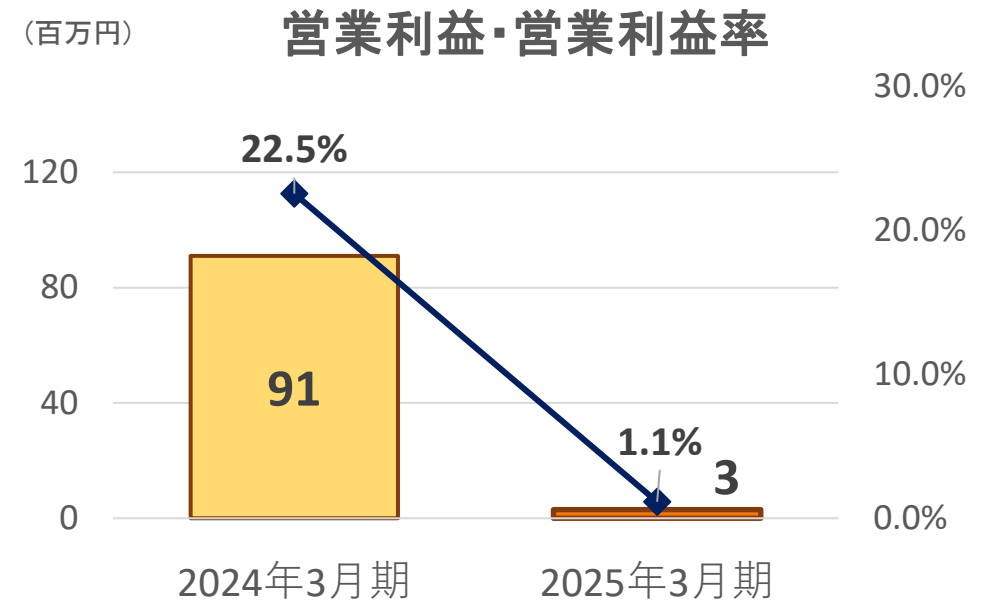
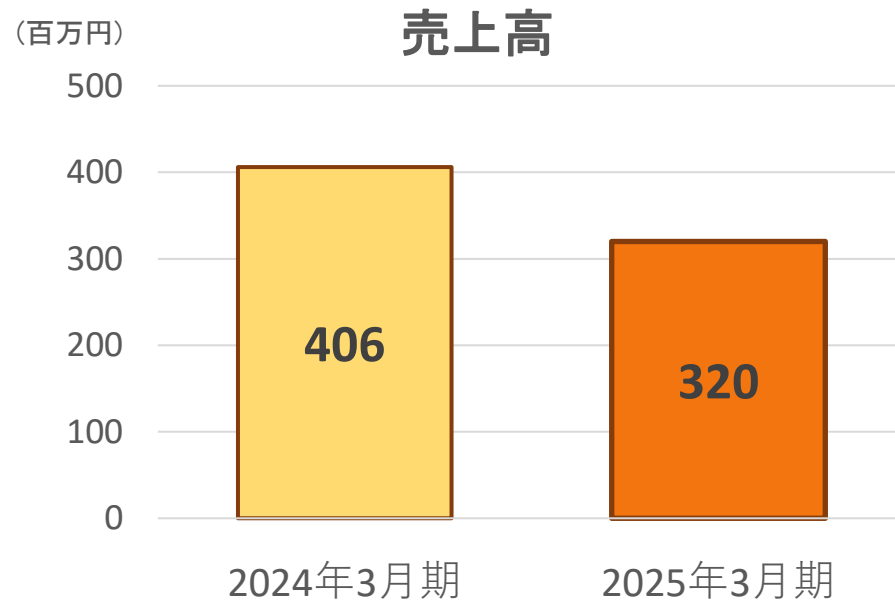
安価肥料への移行トレンドが継続し、売上高33,060百万円(前年同期比1.8%減)、利益面では、前期の肥料価格値下がり前の在庫に起因する売買差損の影響が軽減されたことに加え、販管費の抑制が奏功し、セグメント利益は55百万円(前年同期はセグメント損失1,245百万円)となりました。

化学品事業



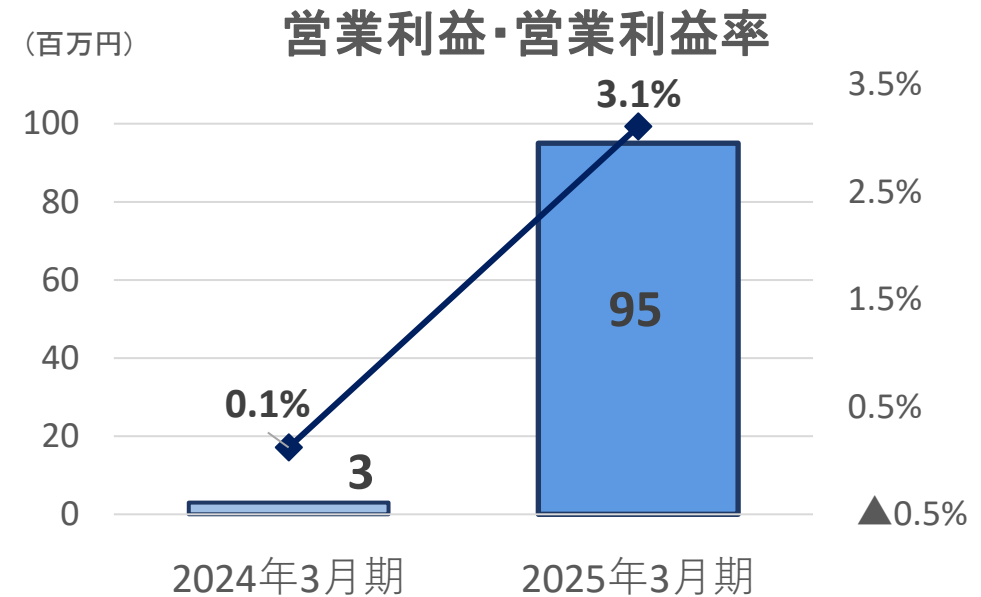
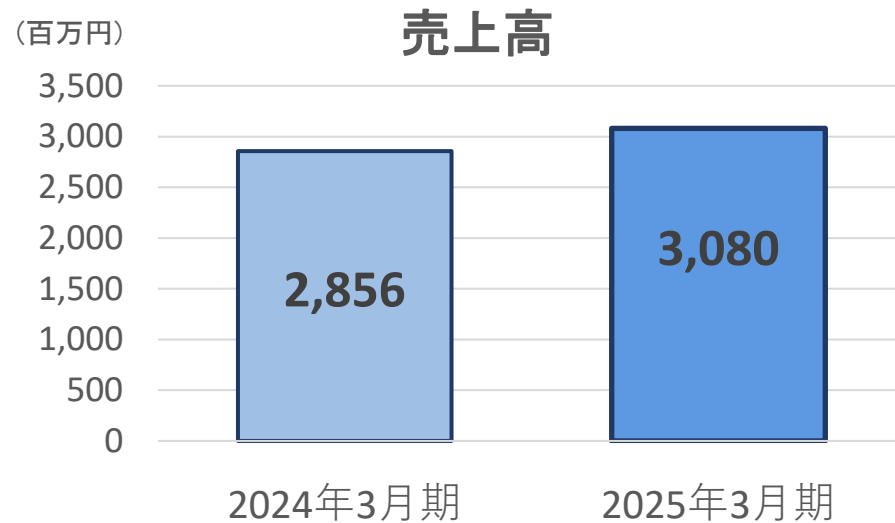
工業用リン酸及び調合酸、無機素材の販売数量増加や原価良化等により、売上高6,260百万円(前年同期比12.3%増)、セグメント利益は637百万円(前年同期比45.2%増)となりました。

不動産事業



渋谷区において新たに土地交換で取得した土地に、賃貸用建物を建設中であることから賃料収入が減少し、売上高320百万円(前年同期比21.2%減)、セグメント利益は3百万円(前年同期比96.0%減)となりました。

その他の事業

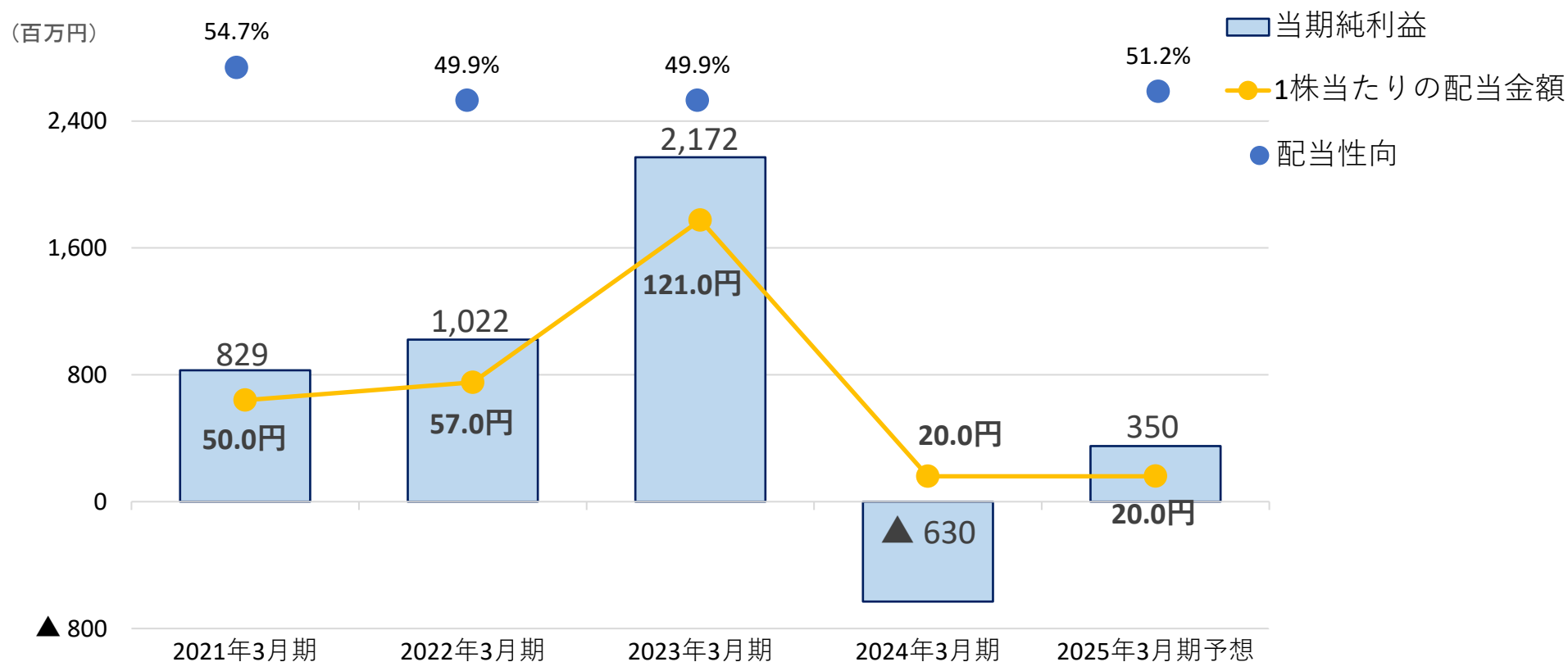


連結子会社において運送・請負業務の価格改定等、収益改善を図ったことにより、売上高3,080百万円(前年同期比7.9%増)、セグメント利益は95百万円(前年同期はセグメント利益3百万円)となりました。

株式の配当金推移

株主に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、安定的かつ継続的に業績に見合った成果の配当を行うことを基本とし、引き続き配当性向50%を目標といたします。なお、特殊要因がある場合にはこれを考慮して配当金額を決定することがあります。

当期純利益・1株当たりの配当金額・配当性向 推移





稔り豊かな未来に貢献したい
<https://www.katakuraco-op.com>

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれておりますが、これらは現時点の情報及び仮定に基づいたものであり、将来の業績や事業展開を保証するものではありません。